

みんゆう 随想

斜里岳も無事クリアして、キャンパーで着替えていたら、登頂一番を達成した山口県の宇部男が下りてきたので「お次はどちらへ？」と尋ねると「清里駅」。少し寄の道になるが駅まで送ることにしました。

渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング
代表取締役

また一人旅になり快適なドライブが始まりました。途中で木工体験施設に立ち寄り「だいこん村・木工教室」の、教材になりそうな作品を買い漁りました。百名山追悼(3・11)登山が完結したら、子どもたち「ものづくり」に没頭するのが次の夢の実現であります。



途中の道の駅で休憩タイム。野菜と果物を中心に、つまみとおかず、辛口のカップ酒を買い込んで、寒温泉登山口を目指して、演歌を聞きながらハンドルを握りました。

7月18日。時間に余裕のある登山が楽しめるので、と、生々しい噴煙は地獄

がごろごろの登山道を進むのリスに似た動物が、連れと、大きな岩の上に特大の毒キノコのような金属の物を暫く観察。これまでの人生に重ね忘れ掛けたことを教えて貰ったような気分でした。

機嫌なのか、警報サイレンなのか謎は深まりました。雌阿寒温泉は貸し切りで超極楽。建物は勿論、湯船も洗い場も年輪を感じ味わいのある湯治場そのものでした。通常は湯船に樋から温泉が注いでいるのに、その設備がありません。旺盛な好奇心は止まらず探索開始。船底が石畳と砂になっ

山に魅せられて6

いつもの競争心を捨て、ゆったりと北海道の大自然を満喫し登っていると、電線らしい黒くて丸い、太いケーブルを辿るように進んでいくことに気がきました。

このコースに山小屋はない。息切れし小休止しているが、頑張って明日はトムラで森林限界に到着し火山石で、オコジョの半分くらいウシ山に挑戦します。

「納得！」

予定の6座は終了した